

2016年総統選挙・立法委員選挙 選挙区・比例区 各党得票率と3種の票の動き (2016.2.1 作成:小笠原)

3つの票の動きを把握することで 今回の選挙の特徴が見えてくる

- 【要点】
- 選挙区で国民党の票は堅い基盤を持っていたが、それが縮小し、なおかつ「その他」に流れ、比例区でさらに分散した。
  - 藍緑の対立構造は変化したと指摘されるが、比例区の政党票と総統候補得票率は見事なほど一致している。
  - 緑陣営は求心力がある。崩れたのは藍陣営の中。選挙区で「その他」に入れた人は国民党候補が落選して構わないと思って票を投じた。

選挙区の各党得票率

原住民選挙区を除く

選挙区での勢力比は 緑 54.0% vs 藍 39.3% 非常に大きな差がついた

緑陣営	民进党	時代力量	緑系無党籍	台聯	緑社聯
54.00%	45.08%	2.94%	3.45%	0.82%	1.71%

藍陣営	国民党	新党
39.34%	38.71%	0.63%

その他	親民党	民国党	小党無党籍
6.66%	1.26%	1.63%	3.77%

総統選挙の各候補得票率

蔡英文
56.12%

朱立倫
31.04%

宋楚瑜
12.84%

比例区の各党得票率

緑陣営	民进党	時代力量	台聯	緑社聯
55.20%	44.06%	6.11%	2.51%	2.53%

藍陣営	国民党	新党
31.10%	26.91%	4.18%

その他	親民党	民国党	小政党
13.70%	6.52%	1.62%	5.56%

蔡英文の票は選挙区の国民党から2割 来ている。これが総統は蔡、選挙区は国民党という分裂投票。比例区ではその他「小政党」から1割来た。緑陣営は堅い。

朱立倫は選挙区の藍陣営の票を固めることができず、6割が宋楚瑜に流れた。朱の得票率は比例区の藍陣営と同じでどちらも大きく縮小した。

比例区の親民党、民国党その他「小政党」から宋楚瑜以外に1割蔡英文に流れた。宋楚瑜票は選挙区では半分の6割のみが国民党に向かい、残り6割は「その他」に。

2%

6%

1%